

活動報告書

今月の主な活動

11月16日に富岡市蚕糸園芸係の方々に同行させていただきシルクサミットに参加いたしました。開催場所近くの岡谷蚕糸博物館では宮坂製糸所を会長さん直々に案内いただき、実際に稼働している上州式やフランス式の繰糸現場を見ることができました。

自宅では10月のお蚕さん羽化観察に続き、2回目の羽化動画記録に挑戦していましたが虫かごを観察用に変え、万全の状態で撮影に挑んだもののなぜか大惨事。10匹のうち半分ほどしかまともに羽化せず、羽化した時から瀕死の状態でした。立派な蛹を選んだのになぜだろうかと思っていたところ、シルクサミットの中でお蚕は水分に弱いとの話があり、床面積の小さくなった観察用虫かごでは先に羽化したお蚕のおしっこに浸っていたことを思い出し、溺れてしまった可能性が高いと分かりました。残念ながら満足のいく撮影は来年に持ち越しのようです。



さらに今月は1年ぶりの碓氷製糸場で繭の納品準備。去年と同じメンバーだったのでやり方もマスターしたのか予想外のアクシデントに出くわしたもののスムーズに行えました。右写真の繭倉庫は天井に幾つか天板が開くところがあり、それぞれの口の上にいる繭か分かるように繭が納められています。そこから出ている袋の口をそっと開けて移動していきます。昔ながらのままの設備は薄暗がりでなかなか凄い景色です。今回の作業では写真に写っている機械を使うわけでもなく手作業で何トンもの繭を15キロごとに秤で調整して袋詰めしていきます。秤も自動の物以外に錘を片方に掛けて15キロっぽいところを見つけるものもあり、農家さんはお米などで使い慣れているようでそんな不思議な装置もサッと使えて職人っぽさがかっこよく見えます。私はと言いますと、デスクワークに慣れた筋肉が15キロの袋を運ぶだけの動きでも簡単にできるわけもなく、あっという間に筋肉痛でした。

